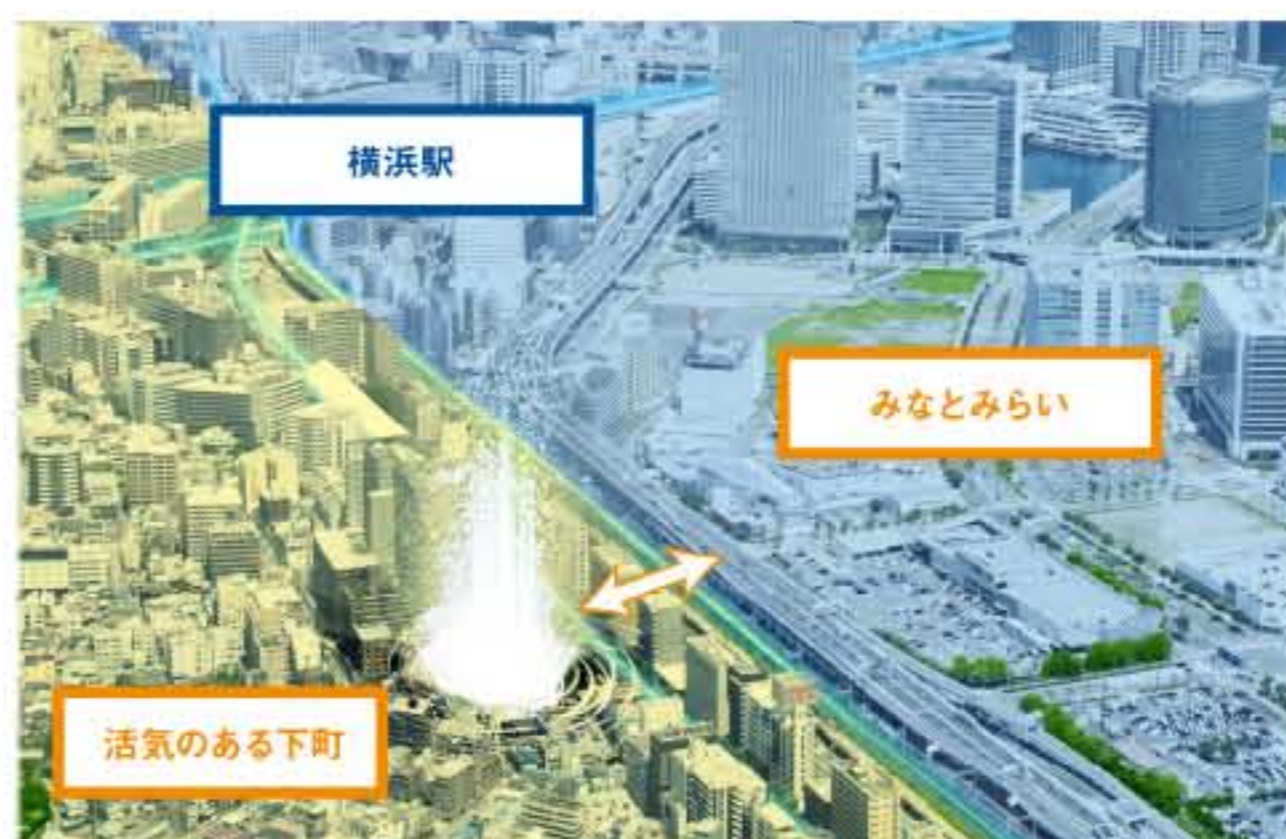


02. CONCEPT

地域課題への対応

西区区政運営方針に掲げられている「安全・安心なまちづくり」、「いきいきと健やかに暮らせるまちづくり」、「にぎわいあるまちづくり」の実現のため、さまざまな地域課題の解決に向けた取り組みを横浜市住宅供給公社が行います。



現地航空写真※一部CG処理を施しています。(平成26年5月撮影)

認可保育所などの子育て・保育機能の充実

計画地周辺地区においては、神奈川横浜西区花咲町・桜木町地区およびみなとみらい21地区における近年のマンション建設が相次ぎ、子育て世代の流入が大変多くなっており、認可保育所をはじめ子育て・保育支援機能の充実が必要となっています。

高齢化に伴う医療・介護サービスなどの充実

計画地の背後地にあたる神奈川横浜西区戸部町・戸部本町・御所山町などの既成市街地では人口の高齢化が進み「地域包括ケア」の取り組みが求められています。そして、平成25年11月横浜市内全区に先駆けて西区医師会内に開設された「西区在宅医療相談室」と連携しながら、医療・介護サービスを必要とする在宅療養患者を力強く支える社会資源が必要とされています。

周辺地域住民の交流の場、活動拠点となる交流スペースの整備

計画地の近隣にある公益施設「戸部コミュニティハウス」の会議室の稼働率が非常に高く、地域に開かれた活動拠点が必要とされています。

既成市街地とみなとみらい地区をつなぐ結節点であり、新旧市街地の人・空間をつなげるための機能強化

計画地の北側紅梅通りは、西区役所等の公共施設、歴史のある藤樹商店街が集積している既成市街地とみなとみらい21地区方面を結ぶ重要な動線であり、公開空地の整備により、安全・安心な歩行者導線が確保され、また「新旧市街地の人・空間をつなげる」ための機能強化が求められています。



地域の安心生活サポート拠点を目指し、「多様化するニーズに対応できる住空間」と「多世代が交流できる住環境」を整備。

地域への貢献を見据えた4つのコンセプトに基づく取組み。



COMMUNITY

多世代がコミュニティを育める住環境の整備

地域交流スペースや地域コミュニティ広場などを設け、安心して居住できるとともに、地域の方々も含めた多世代がコミュニティを育める、地域に開かれた施設を目指しています。



WELFARE

地域の介護・医療・福祉サービスの提供

介護・医療・福祉サービスなどの充実に加え、子育て面などにおいても、支援施設を設け、入居者にも地域の方々にもサービスを提供できる拠点とします。



SAFETY

地域の防災強化への取組

災害時の避難場所や防災用具のほか、ネットを通じて災害情報を表示する掲示板などを備えるなど、災害発生時に地域住民の方々の安全確保に貢献できる施設を目指しています。



ECOLOGY

次世代環境への取組

省エネルギー計画、スマートマンション計画、景観緑化などを導入しているほか、長期優良住宅の認定も目指すなど、環境対策にこだわっています。